

インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) コマザワダイガク	フリガナ)	フリガナ) カガミ
駒澤大学	グローバル・メディア・スタディーズ	各務ゼミ

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ケージーエム 21	フリガナ) シママラカホ	5	無	
KGM21	島村香帆			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)

SAVE THE TOKYO

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

ゴミ問題は年々深刻さが増し国際的な問題である。世界的に見ると近年は人口増加と共に廃棄物が激増しており環境への負荷が増加している。本研究の目的は未来を担う高校生に照準を絞り、環境教育の充実を図ることで、意識の高い高校生を増やしゴミの総体量を減らすことである。現在、東京都の約7割の学校では授業時間内において環境教育が十分に実施されていない。また、現在東京都の埋め立て処分場の余地がなくなりつつあり、50年後には東京都のゴミを埋め立てられなくなる可能性がある。私たちはゴミの総体量を減らし持続可能な社会を実現するために、生徒をターゲットに環境問題に対する意識の向上を促進するツアーを提案する。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

環境省環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課のデータより、日本の一人当たりのゴミの最終処分場残容量(m³/人)は平成20年度から平成29年度までで、約0.15 m³少なくなっている。このことからゴミを処分し、埋

め立てられる場が年々なくなっていることがわかる。また、令和元年度版、世田谷区家庭ゴミ・事業計ゴミ組成分析調査および計量調査報告書によると、可燃・不燃ともに、ゴミ中に 20%の割合の資源化可能物が混在している。つまり、5 回に 1 回間違えてゴミを捨てていることになる。

以上のことから、私たちはゴミ問題に対する意識を高め、自ら危機感を持って行動できる若者を増やすことが持続可能な社会実現の一步に繋がると考え「**実際に現状を目で見てもらうこと**」で意識改善を図ることが最重要であると考え、未来を担う高校生に対して知識を広めることにした。

3. 研究テーマの課題

私たちは持続可能な社会を実現するためには、**現状を知ってもらうことがまずは不可欠**である。しかし、平成 30 年の東京都教育委員会の調査によると、環境教育に取り組む上での問題点として、7 割が**時間の確保が難しい**と回答していた。また、3 割が**具体的に活動に結びつけるのが難しい**と回答した。これらのことから、私たちは、**環境教育の不足が課題**だと考えた。また東京環境公社が主催する中央清掃工場・中央防波堤埋め立て処分場見学会に参加した。そこで実際に話を伺った際、**学生にもっと見学会に参加してほしい**と仰っていた。そこで、課題を解決する 1 つの方法として、「**生徒向けの清掃工場・埋め立て処分場見学ツアー**」を提案する。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

[図 1]

モデルケース：駒澤高校 行き先：中央清掃工場

時間	場所
8:20	駒澤高校 集合
8:30	出発
9:30	中央清掃工場 到着
9:40	工場学習(20分) + 工場見学(60分)
11:00	工場出発
11:30	環境局中防合同庁舎
11:35	環境学習
12:00	埋立処分場見学
13:00	見学終了 バスに乗り込み東京テレポート 駅へ
13:15	駅到着 解散



私たちが提案するのは、高校生向けの清掃工場・埋め立て処分場見学ツアー『SAVE the TOKYO』だ。内容は東京都の生徒を対象に年に 1 回清掃工場見学ツアーを社会科見学の一環として開催する。清掃工場や埋め立て処分場を見学し、実際に普段自分たちが排出しているゴミがどのように処分されていくのかを見てもらう。実際に目で見て現状を知ることによって環境（ごみ）問題を身近に自分毎として捉えてもらう。その結果、意識的に行動できる若者が増え、ごみの総体量を減らすことができると考える。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

4 月にプロジェクトを開始してから現在までの期間、私たちは①駒澤大学の清掃業者であるグローブシップへのインタビュー、②世田谷区清掃リサイクル部事業課へ訪問、③清掃工場見学ツアーに参加、④東京都環境局と駒澤大学高校へツアーの提案などを行った。

6. 結果や今後の取り組み

現状把握とツアー提案のため、行政機関や学校への訪問を計 3 回行った。学校からは各教科との連携や学校訪問学習の提案を受けた。東京都環境局の方からは多くの生徒にツアーを知ってもらうための PR 方法が必要だとフ

ードバックをいただいた。両者共に取り組み自体には興味を示してもらい今後、事前・事後学習、ボランティア訪問、ツアーのPR方法などを検討する必要がある。

7. 参考文献

- ・ 環境省/世界の廃棄物の将来予測
(<https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/h23/html/hj11010402.html>)
- ・ 日本 の 廃 棄 物 処 理 平 成 29 年 度 版
(http://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/ippan/h29/data/disposal.pdf)
- ・ ごみレポ 23 2019
(<https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/gomirepo/2019/HTML5/pc.html#/page/6>)
- ・ 平成 31 年度～平成 20 年度 予算書及び予算説明書
(<https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/zaisei/yosan/kumiai/yosan/yosan.html#yosan30>)
- ・ 世田谷区家庭ごみ・事業系ごみ 組成分析調査及び計量調査報告書
(https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kurashi/004/006/003/d00007885_d/fil/7886_1.pdf)
- ・ 東京都教育委員会 平成 30 年度環境教育の現状と課題を調査する報告書
(http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/school/content/environment/files/research_201809/houkokusyo.pdf)
- ・ 環境省 平成 30 年 環境省 プラスチックを取り巻く国内外の状況
(<http://www.env.go.jp/council/03recycle/y0312-01/y031201-2r3.pdf>)

<企画シート作成上の注意>

- ※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。
- ※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様(株式会社日経 BP マーケティング)に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。
- ※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。
- ※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。
- ※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。
- ※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。
- ※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ **ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください**